2014 年 1 月 31 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2014年３月期第３四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：中井　加明三）は、本日、2014年３月期第３四半期連結決算（2013年４月１日～2013年12月31日）を確定しましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成26年３月期　第３四半期決算短信」を併せてご参照下さい。

＜ハイライト＞

■2014年３月期第３四半期における連結業績は、売上高が3,910億円（前年同期比24.4%増）、営業利益が585億円（同80.1%増）、経常利益が503億円（同107.1%増）、四半期純利益が251億円（同109.3%増）と、大幅な増収増益となりました。これは主に、住宅分譲事業において計上戸数が増加したことに加え、前年同期に営業エクイティ投資評価損を計上したこと等に因ります。なお、第３四半期決算としては、売上高、各利益とも過去最高水準となっております。

■住宅事業セグメント・・・住宅分譲部門では、マンションと一戸建てを合わせた計上戸数が4,586戸（前年同期比1,707戸増）と大きく増加しております。また、契約済未計上残高も6,508戸（前年同期末比180戸減）まで積み上げております。なお、過去最多となる通期の計上予定6,200戸に対する当第３四半期末時点の契約進捗率は、99.2%と順調に推移しております。

■賃貸事業セグメント・・・賃貸部門では、当第３四半期末時点の空室率は2.9%（前期末比＋0.7ポイント）と、引続き低位に推移しております。なお、昨年11月より、東芝グループをテナントとする「ラゾーナ川崎東芝ビル」（神奈川県川崎市幸区）が満床にて新規稼動いたしました。

■通期業績予想の変更・・・現時点までの事業の進捗状況と今後の見通しを勘案した結果、昨年10月に公表した業績予想から、売上高を30億円増（0.6%増）の5,230億円、営業利益を50億円増（同7.7%増）の700億円、経常利益を60億円増（11.1%増）の600億円、当期純利益を30億円増（13.6%増）の250億円に上方修正いたしました。なお、売上高及び営業利益は、過去最高となる見通しです。

以　上

（添付資料）
平成26年３月期　第３四半期決算短信
2014年３月期第３四半期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（北井・平野）
TEL03－3348－8117 ・ FAX03－3343－0445